TV 報道検証【報道特集】　報告書

テレビ局： TBS	番組名：報道特集	放送日：2020 年 10 月 24 日

出演者：金平茂紀、日下部正樹、膳場貴子、宇内梨沙
岸将之（記者：給付金詐欺特集を取材）

検証テーマ： 年始休暇延長の要請、オープニング、アメリカ大統領選挙、核兵器禁止条約
横田滋さんのお別れ会、中国の抗米援朝、愛子さまが学習院大学に初登校
税務署職員が大麻所持の容疑で逮捕、【特集】米大統領線の現場は

報道トピック一覧

・年始休暇延長の要請
・オープニング
・アメリカ大統領選挙
・核兵器禁止条約
・横田滋さんのお別れ会
・中国の抗米援朝
・愛子さまが学習院大学に初登校
・五輪会場で池江選手が泳ぎ初め
・税務署職員が大麻所持の容疑で逮捕
・千葉県富津市で交通事故
・【特集】給付金詐欺を追及
・【特集】米大統領線の現場は
・スポーツ報道

放送法第 4 条の見地からの検討・検証および該当トピックの報道内容要旨

・年始休暇延長の要請：結論→特に問題なし
　年末休暇延長の要請について以下に朱記したような VTR が取り上げられていた。

"ナレ「栃木県日光のいろは坂には午前中から長い車の列が、その先にある中禅寺湖、湖畔の木には葉が赤や黄色に染まり、紅葉が見頃を迎えています。一方、こちらは東京の下町、浅草。」
小松玲葉（報告）「今日の東京浅草、多くの観光客で賑わっています。」
ナレ「都内の観光客で賑わっていますが、普段と少し違うのが。」
観光客 A「豊島区、今日からなんか安くなる。」
観光客 B「日野市なんですけど、ずっと行きたくていけなかったところって言ったら、ここかなって思って。」
ナレ「東京から東京へと慣行に訪れる人達、それを後押しするのが『もっと Tokyo』キャンペーンです。東京都民による東京都内への旅行を対象として、GoTo トラベルに加えて上乗せして補助されますが。」"
"観光客 C「やり方が、年取っているからよくわからなくて、」
観光客 D「探したんですけれども、まだやっていないところとか、もう締め切っちゃっているところとか。」"
"ナレ「準備が整わない業者も多く、ドタバタのスタートとなっています。そして今年は年末年始も例年とは違ったものになりそうです。」
西村康稔（経済再生相）「休暇の分散、あるいは 1 月 11 日までの連続休暇の取得などをお願いしたところであり

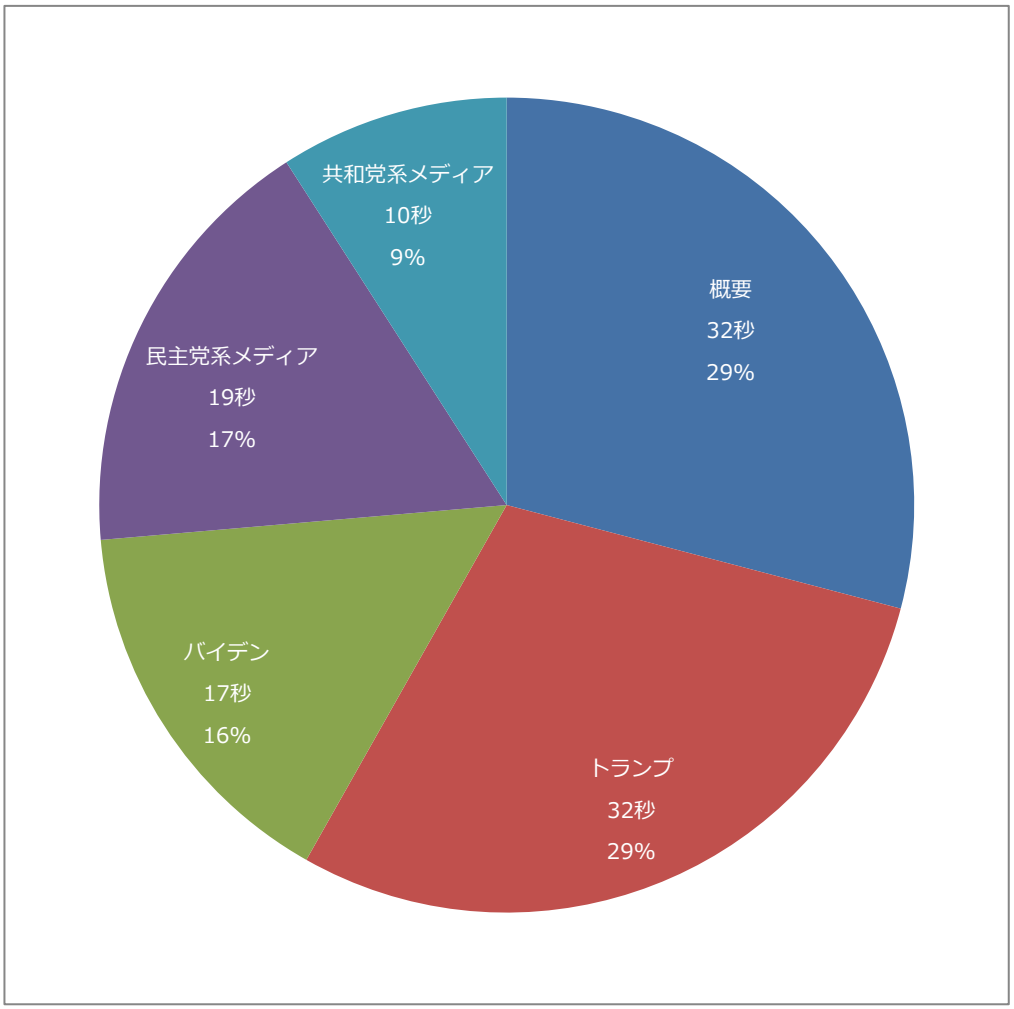
ます。」
ナレ「政府は昨日、コロナ対策について話し合う分科会で年末年始の休暇を延長するよう企業側に要請することを決めたのです、来年の正月は三が日が週末と重なるため、通常であれば 4 日が仕事初め。しかし、密を避けるため、年明け 11 日まで休暇を伸ばしてもらおうという個のです。」"
"街の人 E「仕事が休みになるのであればちょっとラッキーだなというところはありますね。」
街の人 F「私なんかもう休めない仕事ですので、正月とか関係なしだから、ちょっと不公平かなって。」
ナレ「迎える神社のがわにもある変化が。」
金子泰拓（報告）「こちらおみくじのすぐ脇にはアルコール消毒が置かれています。」
ナレ「こちらの神社では参拝客の手が触れるものを中心に感染防止策を進めています。手や口をお清めする手水舎では柄杓を撤去。新たに流水で清められる場所を設置しました。また、参拝する人の流れを一方通行にするなど、密にならない工夫も。特に混雑が予想される初詣では 12 月から 2 月にかけての分散した参拝を呼びかけます。」
井戸睦（乃木神社）「三ヶ日にこだわらずとも、お神様はお守りいただいておりますので、皆様安心して初詣にお越しをいただければと存じております。」"
　このトピックについて当てられた時間は 194 秒で放送法上は特に問題は見られなかった。

・オープニング：結論→特に問題なし
　番組の冒頭で金平キャスターの「四年に一度の大統領選挙の投票日まであと僅か 10 日となったアメリカで取材を続けています。コロナの影響もあってなかなか現地取材ができなかったんですけれども、実際に現場に足を運んでみますと、アメリカ国民の怒りや悲しみ、また、希望が直接見えてきて驚きの連続です。後ほどまたこちらから中継でお伝えします。」とのコメントしていた。
　このシーンに当てられた時間は 27 秒で放送法上は特に問題は見られなかった。

・アメリカ大統領選挙：結論→特に問題なし
　膳場キャスターの「あと 10 日と迫った、そのアメリカ大統領選挙です。」とのコメント、日下部キャスターの「最後のテレビ討論会から一夜明け、両候補はそれぞれの遊説先で相手を厳しく非難しています。」とのコメントを受けて以下に朱記したような VTR が取り上げられていた。
"深井慎一郎（報告）「トランプ大統領にとっては絶対に落とせないフロリダ州、この 2 週で四回目の訪問です。」
トランプ大統領「昨夜バイデンはアメリカ大統領にはできないことを証明した。」
ナレ「トランプ大統領は前日のテレビ討論会で『バイデン氏は最も恐ろしく危険な移民政策を行うと約束した』などと批判しました。」"
"バイデン（民主党候補）「昨夜、我々はアメリカの大統領が国民にウソをつき、新型コロナ大流行について繰り返しウソをつくのを見た。」
ナレ「一方のバイデン氏も『トランプ氏が危機の責任を取ることを拒否するのを目の当たりにした』と指摘、"
大統領選挙まで 10 日となる中、両候補による非難の応酬は激しさを増すばかりです。
最後の討論会についてトランプ氏に批判的な有力紙、ワシントン・ポストはバイデン氏は普段の自分を維持すれば勝利につながることを知っていた、と分析し、ニューヨーク・タイムズ紙も『バイデン氏は重大なエラーを侵さなかった、とバイデン氏に軍配を上げました。
これに対しトランプ氏に近いフォックス・ニュースはトランプ氏はアメリカを前進させ、バイデン氏はアメリカ

を悲惨なオバマ時代に戻すだろうと警鐘を鳴らしています。
アメリカの政治分析サイトによりますと、両候補とも前回の討論会より評価を上げましたが、バイデン氏がより良い評価を得ています。」

このトピックについて当てられた時間は 110 秒で、時間配分及び比率は以下の通りだった。



特に問題は見られなかった。

・核兵器禁止条約：結論→特に問題なし

日下部キャスターの「核兵器の保有や使用を禁止する核兵器禁止条約を批准した国と地域が 49 になり、発効に必要な 50 まであと 1 となりました。長崎市では被爆者が集まり核廃絶をアピールしました。」とのコメントを受けて、以下に朱記したような VTR が取り上げられていた。

"ナレ「平和を願い、被爆地長崎で毎年行われる市民大行進、今日は被爆者や学生などおよそ 500 人が参加、条約発効に必要な 50 まであと 1 に迫り被爆者からは期待の声が聞かれました。」
川野浩一（原水禁議長）「それはもう本当に嬉しいです、それにやっぱり伴って我々も運動を続けていかなければならないと思っています。」
田神富久（長崎市長）「戦後ずっと長崎のみなさんが願い続けてきたことでもあって、それがようやく実現に近づいているということで、大変期待をしています。」
ナレ「高齢化が進む被爆者は一日も早い条約発効を願っています。」"

このトピックについて当てられた時間は 68 秒で放送法上は特に問題は見られなかった。

・横田滋さんのお別れ会：結論→特に問題なし

膳場キャスターの「今年 6 月に亡くなった拉致被害者横田めぐみさんの父、滋さんのお別れ会が、都内で開かれました。」とのコメントを受けて、以下に朱記したような VTR が取り上げられていた。

"記者「音尾さんのお写真はこちらの中にあるんですか。」

横田早紀江さん「そうですね今日はね、みなさんがね、最後のお別れに来てくださるのよって話して。」

ナレ「今朝、妻の横田早紀江さんは普段自宅に飾っている滋さんの写真を風呂敷に包みお別れ会の会場に向かいました。」

飯塚繁雄（田口八重子さんの兄）「『お父さん、ただいま』、『おかえり、めぐみ』、この言葉を何年も待っていたでしょう。」

横田早紀江「菅総理大臣、加藤官房長官、そして安倍晋三さま、必ず実現に向けて、あの、頑張っていただきたい、と。」

ナレ「今年は長年横田夫妻とともに国際社会に拉致問題の解決を訴えてきた有本恵子さんの母、嘉代子さんも 2 月に亡くなり、帰国していない拉致被害者の『親の世代』は有本明弘さんと横田早紀江さんの 2 人だけになりました。」"

"菅義偉（総理大臣）「米国を始めとする関係諸国と緊密に連携を取りながら拉致問題を提起し続けていきたい、解決をするまで取り組んでいきたいと思っています。」

ナレ「一方、拉致問題を考える集会で菅総理は改めて早期解決に向けた意欲を示しました。また、菅総理は拉致問題を政権の最重要課題の一つと位置づけていて、横田滋さんのお別れ会も総理大臣として自らが先頭に立ってあらゆるチャンスを逃すことなく、活路を切り開いていく、と訴えました。」"

このトピックについて当てられた時間は 108 秒で放送法上は特に問題は見られなかった。

・中国の抗米援朝：結論→特に問題なし

日下部キャスターの「中国が朝鮮戦争に参戦してから明日で 70 年、それに合わせて中国ではあるスローガンが盛んに全面に押し出されています。」とのコメントを受けて、以下に朱記したような VTR が取り上げられていた。

"習近平（中国国家主席）「『抗米援朝』戦争の偉大な勝利は中華民族の歴史に永遠に刻まれる。」

ナレ「朝鮮戦争参戦 70 年を記念して開かれた式典で習近平国家主席が 20 回以上も繰り返して使った言葉『抗米援朝』中国が義勇軍として参戦し、アメリカを主体とする国連軍と戦った際に使われたアメリカに対抗し、北朝鮮を助けるという意味のスローガンです。昨日は各地で記念イベントが開かれ、『抗米援朝』一色の一日となりました。」

延広耕次郎（報告）「こちらの映画館でも朝鮮戦争をテーマにした映画が上映されています。『血の戦いを最後までやる』というテーマだそうです。」

観客 A「『抗米援朝』の記念式典を中継で見て、映画も見て、とても感激している。（映画で泣いたので）一袋のティッシュを全部使い切った。」

観客 B「本当に血を流して国を守っているところに感動した、最近の若者はそういう感覚がないでしょう。」"

ナレ「朝鮮戦争を巡っては韓国の人気グループ BTS のメンバーが今月、『私達は韓国と米国がともに経験した苦難の歴史を永遠に忘れてはならない。』と発言、中国のインターネット上では出て行けなどと批判的なコメントが相次ぎ。中国外務省が『韓国とともに友好関係を作っていく』と述べ火消しを図る事態となりました。なぜ、こ

こまで中国は抗米援朝に拘るのでしょうか。専門家は中国側の危機感が背景にあると指摘します。」
王勇（北京大学国際関係学院教授）「中国側が（アメリカに）強直な警告を出さないと、台湾とアメリカ国内の保守派が徐々に合流し、中国ぅおさらなる分裂に推し進める可能性がある。」
ナレ「台湾、香港などの問題をめぐり西側諸国からの孤立化が進む中、習近平指導部としてはアメリカと戦う姿勢を示すことで、愛国心を高め、国内の結束をアピールする狙いがあると見られます。」
　このトピックについて当てられた時間は 161 秒で放送法上は特に問題は見られなかった。

・愛子さまが学習院大学に初登校：結論→特に問題なし
　膳場キャスターの「4 月に学習院大学に進学していた天皇皇后両陛下の長女、愛子さまが今日はじめて大学に投稿されました。」とのコメントを受けて、以下に朱記したような VTR が取り上げられていた。
愛子さま「半年遅れではありますが、先生方や学生の皆さんにお会いできることを嬉しく思います。」
ナレ「今年 4 月に愛子さまは学習院大学文学部に進学しましたが、新型コロナウィルスの影響で大学構内での授業がなく、オンラインで授業を受けられていました。今日、新入生を対象としたガイダンスが開かれ、愛子さまは初めて大学に登校されました。愛子さまは『新型コロナウィルスの感染拡大が収束し、皆様が普段どおりの生活や活動ができるようになることを心より願っております』と述べられました。」"
　このトピックについて当てられた時間は 49 秒で放送法上は特に問題は見られなかった。

・税務署職員が大麻所持の容疑で逮捕：結論→特に問題なし
　日下部キャスターの「大麻を所持しているとして逮捕されたのは税務署職員の男でした。」とのコメントを受けて、VTR とともにナレーションによって「関東信越国税局大宮税務署に勤務する除村盛太郎容疑者は昨日、埼玉県深谷市の自宅で大麻リキッド 1 本を所持していた疑いで逮捕されています。これまでに大麻リキッドを吸引する器具などが押収されていて警察は午後四時から除村容疑者が勤務する大宮税務署に家宅捜索を実施しました。調べに対し除村容疑者は『自分で使うために持っていた、自分のものに間違いない』と容疑を認めていて。警察は今後、大麻の入手先について詳しく調べる方針です。」とのことが伝えられた。
　このトピックについて当てられた時間は 47 秒で放送法上は特に問題は見られなかった。

・【特集】米大統領線の現場は：
　膳場キャスターの「さて、次は投票まであと１０日、最終盤を迎えたアメリカ大統領選です。金平さん」とのコメント、および金平キャスターの「４年前に大方の予想を裏切って、えートランプ候補がヒラリー候補を破った時とは何が変わったのか？少なくともコロナウイルスのパンデミックと、ブラックライブマターのこれほどまでの盛り上がりは４年前には無かったことです。現場で取材しました。」とのコメントを受けて、以下に朱記したような特集が取り上げられていた。
ナレ「ワシントン DC に入った金平キャスター。町の至る所では、新型コロナ対策として、レストランの椅子やテーブルが屋外に出されていた。」
金平「これ元々、道路ですからね。これ。道路にはみ出してこうやって、食べられるようにしてるっていう、」
ナレ「美容院も、椅子を表に出し、屋外で営業していた。」
ナレ「街の歩道や街路樹には、感染症対策を呼び掛けるポスターが、あちこちに貼られている。」
金平「ここが、検査場？わかんないですよ。これ。」
ナレ「ワシントン DC では、ドライブスルーで検査を受けることができる。」

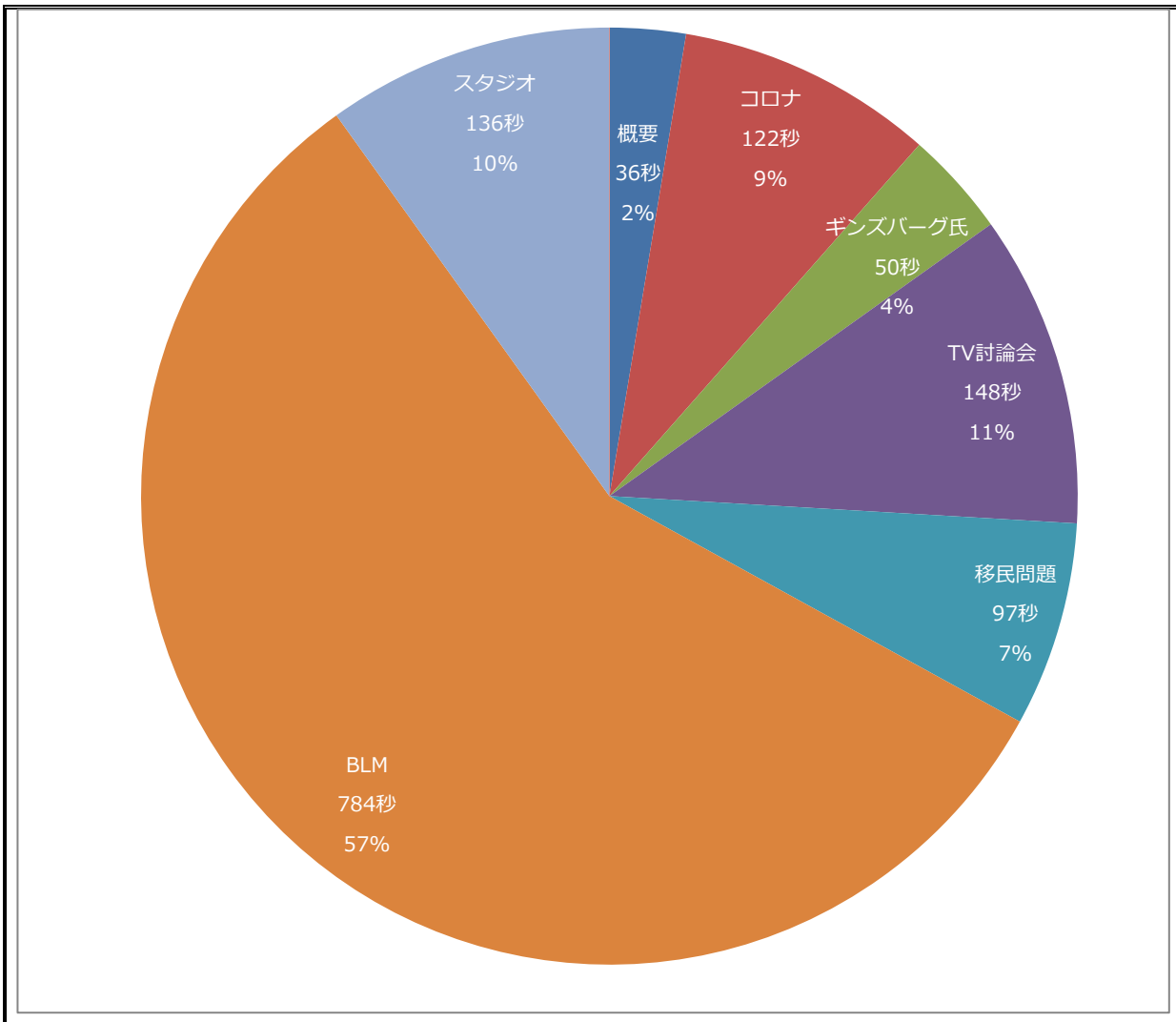
女性スタッフ（吹替）「後ろの窓をあけてください　。検査できているんか確認するんで。」
女性スタッフ（吹替）「自分の名前と誕生日が書いてあるオレンジ色の袋を受け取ってください。」
ナレ「わずか、２時間ほどで陰性の結果がでた。町の一角にはこんなものも置かれていた。」
金平「オフィシャル　バロット　ドロップ　ボックスですから、郵送のえー受付箱ですね。これ。」
ナレ「新型コロナウイルスの感染拡大により、大幅に増える見通しの郵便投票。車を持たない人や貧困層など、民主党を支持する若者たちが、投票しやすいため、トランプ大統領は反発している。」
金平「これ、びっくり、あの、９月の１８日に、亡くなった最高裁の女性判事のルースベイダー・ギーンズバーグの肖像画が、ああいうふうに建物の壁一面に、描かれてますね。」
ナレ「リベラル派で、女性の権利拡大などに尽力したギンズバーグ氏。後任には、トランプ大統領の考えに近い保守派の判事が証明される見通しだ。」
金平「なんかいっぱい、手紙が添えられてて、だいたいが感謝の・・・こういう動きが今度の大統領選挙にどういうふうに影響するのかということですけどね。」
ナレ「会場袖から緊張した面持ちで現れたトランプ大統領。一方マスクを外しながら登場し、笑顔を見せた民主党のバイデン候補。日本時間の昨日、両社が臨んだのは最後のテレビ討論会だ。」
ナレ「冒頭議題となったのは、新型コロナウイルスの問題。」
トランプ大統領（字幕）「私は新型コロナに感染し、入院していた。しかし短期間で回復し、今夜この場に来ることができた。」
トランプ大統領（字幕）「もう終わりも見えている。ウイルスは無くなるだろう。」
民主党　バイデン前副大統領（字幕）「２２万人以上のアメリカ人が亡くなった。これだけ多くの死者を出した責任者が大統領にとどまるべきではない。」
ナレ「そして、ワクチン開発についてトランプ氏は・・」
トランプ大統領（字幕）「ワクチンも間もなく出来る数週間以内に発表できるだろう。」
"ナレ「しかし・・・」
司会者（字幕）「数週間以内にワクチンが出来ると言いましたが、保証は？」"
トランプ大統領（字幕）「保証はないが、年末までには可能だろう」
ナレ「保証はないとトーンダウン。」
ナレ「前回の討論会が両者の罵り合いに終始したことから、今回、各テーマごとに冒頭の２分間は一方のマイクが切られるという異例の措置が取られた。」
ナレ「比較的穏やかに進んだ討論会だったが・・・」
トランプ氏（字幕）「もしロシアやウクライナや中国などについての疑惑が事実なら、あなたは汚職にまみれた政治家だ。」
司会者（字幕）「人種問題について話をしたいのですが」
ナレ「トランプ氏が、バイデン一家のウクライナなどの疑惑について批判を続け、司会者に静止される場面も･･･」
バイデン氏（字幕）「トランプ氏が言っていることはごみだ。」
トランプ氏（字幕）「またロシアの偽装工作だというのか？ロシア、ロシアの・・・」
バイデン氏（字幕）「まさにその通りだ。」
トランプ氏（字幕）「ロシア、ロシア、ロシアのでっち上げ？」
司会者（字幕）「人種問題について話してください。」
トランプ氏（字幕）「冗談じゃない。」

（CM）
金平「ピザを食べながら、飲みながら、その討論の様子をテレビで見るという、そういう場所に来ています。」
ナレ「激戦州の一つペンシルベニア州で開かれたオッズパーティー。バイデン氏を支持するヒスパニック系の移民らが参加していた。」
ナレ「メキシコとの国境に壁を建設するトランプ大統領は、」
トランプ大統領（字幕）「今、我々にはかつてなかったほどの強力な国境がある。４００マイル以上にわたる真新しい壁がある。我々は移民を受け入れるが、彼らは合法的に入ってこなければならない。」
バイデン氏（字幕）「１００日以内に１１００万人以上の不法移民がアメリカ国籍を取得するための計画案を米国議会に提出する。」
ナレ「参加者たちは討論会をどう見たのか？」
金平（字幕）「移民問題が一番大事でしたか？」
男性（吹替）「はい。これは本当に大事です。アメリカの次の大統領が、移民問題にどう取り組むのかが、大事です。」
"金平（字幕）「(今夜の討論会の）真の勝者は誰だと思う？」
男性（吹替）「前回よりは良い印象でした。同点だったと思います。」"
男性（吹替）「トランプ大統領は国を一つにできません。彼は確実に国を分断しました。私たちが目指すのは団結。団結して、一緒に生きて、仕事して、よりよいコミュニティを作ることです。」
ナレ「今回の大統領選の行方を左右するカギの一つが、黒人たちの票だ。」
ナレ「昨日の討論会でも・・」
トランプ大統領（字幕）「ドナルド・トランプ以上に黒人社会に何かをした人はいない。もしいるとしたら、例外はリンカーン大統領だけだ。」
バイデン候補（字幕）「”ここにいるリンカーン”（＝トランプ）は近代史で最も差別的な大統領じゃないか。」
トランプ大統領（字幕）「リンカーンを引っ張り出してきたが、どこからそうしたんだ？」
バイデン候補（字幕）「あなたが言ったんだろ」
トランプ大統領（字幕）「私が言ったのは『私以上に黒人社会に何かした人がいたか』ということだ。」
ナレ「ホワイトハウスの目の前の通りに、今年６月、ある言葉がかかれた。」
金平「これが、文字が大きすぎて、これ、ブラックライブズマターの一番最後の R がこれでしょ？すごいなあ。」
ナレ「１００ｍにわたって、道幅いっぱいに書かれたのは、”BLACK LIVES MATTER"(黒人の命も大切だ）の文字。」
ナレ「５月にミネソタ州で起きた白人警官による、黒人男性の暴行死事件をきっかけに全米に広がった人種差別反対運動。その象徴となっているスローガンだ。」
ナレ「道路の文字はワシントン DC の職員や、ボランティアによって書かれ、この通りは、『Black Lives Matter Plaza』と正式に命名された。」
金平「このホワイトハウスの前の、公道ですよね。これ。公道にこういうふうなまあある種の強い政治的なスローガンが、」
金平「名前がブラックライブズマタープラザって言う風に、道路の名前にまで、なっちゃっているっていうの、ちょっと、日本じゃ考えられないですけれども、これが大きな、アメリカ社会のうねりになっているということは、ここに来るとほんとに実感しますね。」
ナレ「ホワイトハウスの前に書かれた文字は、トランプ大統領への怒りの表れだ。」

トランプ大統領（字幕）「私は米軍を配備し、問題を速やかに解決する。」
ナレ「トランプ大統領は、過激化したデモ隊が、破壊や略奪を行うケースもあったことを理由に、軍の投入までちらつかせた。」
コメントなし。デモ隊と催涙弾を使う治安部隊の映像
ナレ「さらにこの会見の後、ホワイトハウス周辺のデモ隊を、催涙ガスで排除し、向かいの教会で、聖書を掲げた。」
トランプ大統領（字幕）「我々の国家は偉大だ。」
ナレ「こうした言動に多くの人々が反発したのだ。」
ナレ「この２人はワシントンから４００キロも離れた町から来たという。」
金平（字幕）「ブラック・ライブズ・マターは大統領選にどう影響すると思いますか？」
男性（吹替）「黒人の投票率に影響すると思いますが、いずれにしても、警察の暴力などへの対応に不満を感じている人々が、『トランプ氏を落選させなければ』と思っています。」
ナレ「ホワイトハウスの前にある公園のフェンスには、警察官の暴行によって亡くなった黒人たちの写真や、人種差別への抗議を示すメッセージが貼られていた。」
金平「ブラックライブズマターのこういう色んなプラカードとか、そういうものが、貼られている先に、ホワイトハウスがあってですね、なんか象徴的ですけども、」
女性（吹替）「私たちは今アメリカで起きていることに、国民が不満を抱いているということを、ちゃんと分かってほしくて、ここに来ています。亡くなった方々の思い出として貼られているこうしたものを、守りたいですね。」
ナレ「アメリカ史上最大規模に広がった一連の抗議活動。人々の怒りに火が付いたのは、黒人男性、ジョージ・フロイド氏の死がきっかけだった。」
ナレ「これは死の直前の映像だ。」
フロイド氏（字幕）「プリーズ、プリーズ息ができない」
ナレ「警官に息ができないとフロイドさん。」
"フロイドさん（字幕）「息ができない。」
通行人（字幕）「地面から、話してあげなよ。あんたはそれを楽しんでいるんだ。」"
ナレ「首を押さえつけられていた時間は、８分４６秒。２０ドルの偽札を使った疑いを掛けられての拘束だった。意識を失ったフロイドさんは、その後、死亡が確認された。」
ナレ「警察は当初、　フロイドさんが『物理的に抵抗した』と説明したという。だが、防犯カメラの映像からも、激しく抵抗した様子は見られない。」
ナレ「こうした経緯が明らかになり、抗議の声が大きく広がっていった。」
ナレ「現場は今どうなっているのか。季節外れの雪に見舞われたミネソタ州、ミネアポリスを訪ねた。」
金平さん（字幕）「フロイドさんが警官に殺された場所はどこですか？」
男性（吹替）「ここだよ。ここがジョージ・フロイド広場だ。記念碑とか、聖地みたいなもんだよ。」
ナレ「フロイドさんが押さえつけられていた路面には、青い人型が描かれ、息ができない。という彼の訴えも添えられていた。」
ナレ「周りには、肖像画やモニュメントが置かれ、辺り一帯が追悼のための祈りの地となっていた。」
ナレ「この男性は、広場を守るため、毎日ここに来ているという。」
男性（吹替）「彼が死ぬところを、世界中が見ていたわけだ。全米中の黒人男性が、なんてこったと思ったはずだよ。」

男性（吹替）「他人に、自分が死ぬか生きるかを、決められたくないだろう？この事件が目が覚めた瞬間だったよ。」
ナレ「実は、ブラックライブズマターという言葉が使われたのは、今回が初めてではない。２０１２年に、アメリカ・フロリダ州で、当時１７歳だった黒人の少年が、白人の自警団員によって撃たれて死亡した。」
"ナレ「その事件から、このスローガンが叫ばれるようになった」
デモ隊「BLACK LIVES MATTER」"
ナレ「さらにアメリカだけでなく、イギリス・カナダなど、世界各地に、ブラックライブズマターのネットワーク組織も設立された。」
ナレ「ミネアポリス支部の代表を務めるクルーズさん。何年経っても変わらない現状に、やりきれない思いだという。」
ミネアポリス支部　トレイリン・クルーズ代表（吹替）「この建物も、あの店も元通りになりますが、犠牲になった人々は、二度と戻ってきません。子どもを警官に殺された母親の傷が、癒えることもありません。警官は刑務所送りにならないんですから。そんなことがアメリカでは繰り返し起こっているのです。」
ナレ「大事なのは、大統領選でどちらが勝つかではないとクルーズさんは話す。」
クルーズさん（吹替）「選挙は意識していません。フロイドさんが殺されたときも、我々はただ正義を求めていました。」
クルーズさん（吹替）「オバマの時も、ブッシュの時も、状況はかわりませんでした。重要なのは、どちらの大統領候補が、この状況を止めてくれるかということです。」
ナレ「クルーズさんの話を一緒に聞いていたのは、息子のタリックさんだ。フロイドさんの事件は決して他人事ではないと感じているという。」
タリックさん（吹替）「注意しないといけないんです。近所を歩いているときに、こんなふうにフードを被っていたら、『怪しい』と思われてしまい、殺されてしまった人がいます。若い黒人は、こういうことに気を付ける必要が、あるんです。」
タリックさん（吹替）「なんとかして、変化を起こしたい。変えたいんです。」
ナレ「これは、全米の警察が絡んだ殺害事件や事故の詳細を地図上であらわしている。『マッピング・ポリス・ヴァイオレンス』というデータベースだ。今年は１０月１４日現在、警察の行為で死亡したのは、８６１人。このうちの２８％を黒人が占めるという。アメリカの黒人比率の２倍以上の数字だ。」
女性（吹替）「私が案内しましょう。」
ナレ「ジョージ・フロイドさんが亡くなった現場の近くに住むマーシャさん。高校の教師だが、今はこの場所を守る活動をしている。」
"マーシャさん（吹替）「当時あの、５軒目の家にいたんです。彼が死ぬ場面を撮影したのは、私の生徒なんです。」
金平「えー？」
マーシャさん（吹替）「イエス。ええ、道に書かれているのはすべて警察によって殺された黒人・有色人種・先住民などの名前です。正義が果たされなかった人たちです。警察が命を奪った人の家族が、名前を書き加えたいと、ここを訪れます。でも、もう書く場所が無くなってしまいました。」"
ナレ「道路一面を埋め尽くした犠牲者の名前。その道の先にあったのは・・・」
"マーシャさん（吹替）「見てください。」
金平「墓地になってるんだ。」"
マーシャさん（吹替）「ジョージ・フロイドが死んでから、少なくとも３０人は亡くなっています。毎日また人が死んでないか、ネットで確認しなければなりません。」

ナレ「警察官による暴力で亡くなった人を追悼するモニュメント。一つ一つに亡くなった人の名前や日付がかかれている。」
マーシャさん（吹替）「彼らは、私たちの抗議が初雪が降る前には消えてなくなると思っていました。私たちはまだここに居るわよ。まだ、ここに居る。もうすぐ雪は解けますが、私は正義を待っています。ここが墓地でなくなる日を待っています。黒人が１人も殺されることなく、１日、１週間、１か月、１年を過ごせるのでしょうか？」
　特集の VTR を受けてスタジオでは以下のようなやり取りが繰り広げられた。
膳場「金平さん。ブラックライブズマターの動きがしっかり心強いですけれども、これってもちろん大統領選にも影響していきますよね？」
金平「もちろんそうだと思いますが、まああの、今回ね、あの一現場を取材してみて最も心を動かされたのは、もう５か月ほど前になるんですけども、ジョージ・フロイドさんが殺害された現場の今の状況ですね。あの一一種の聖地のようなね、まあ解放区のようになってて、地元の住民の人たちが自主管理をしているという。このこの運動は全米規模で広がっているので、今度の選挙で、あの、黒人層がですね、投票にたくさん向かうんじゃないかと。その意味では、BLM 運動というのは、今回の選挙の大きな焦点になっていると。」
金平「ただし、白人層に関して言えば、もう過去のことだというふうになりつつあるというようなですね、世論調査の結果も出ていますね。」
日下部「昨日の最後の討論会について、現地の受け止めはどうなんでしょうか？」
金平「まあ先ほどニュースでやってましたですけど、まあ、これ、バイデン氏がですね、優勢だったっていうのが、まあ、大方の見方なんですけれども、それと投票行動が直接リンクするというようなことは、ないというのが、４年前の実証された事柄ですね。私は実は、あの、テレビ討論の最後の締めの言葉ということにこだわりたいと思うんですけども、トランプ大統領が相手の言葉で終始したのに比べてですね、バイデン氏はこういうことを言ってます。」
バイデン氏の発言「私は、投票しなかった人も含めて、あなた方全体を代表する大統領になりたい。」
金平「と、で、投票で今問われているのは、国家のありようだと。それは、品格、名誉、尊敬だと、いうふうに言っていたのとっても、印象に残りました。今の日本の政治にも最も、欠けているものが、今指摘されたというふうに思いながら聞いていたんですけどね。アメリカの政治には、まだ言葉というものがあって、えー、今の日本の政治にはそういうものがあるんだろうかという想いを、持ちながらですね、昨日のテレビ討論というものを見ていました。以上ワシントンからでした。」
膳場「はい、金平さんでした。」
　この特集に当てられた時間は 1373 秒で時間配分および比率は以下の通りであった。



放送法上は特に問題は見られなかった。

最高裁判例の見地からの「印象操作」に関する所見および該当トピックの報道内容要旨

特になし

検証者所感

・【特集】米大統領線の現場は

アメリカといえば日本にとっては唯一の同盟国であり、また世界随一の超大国でもあり、そして西側世界の盟主でもある。それ故に、アメリカの大統領を決める選挙は他の国にとっても極めて重要な意味を持ち一外国の元首選挙とは全く異なった重みがある。

そういった観点からすると、アメリカで生活しているわけではない日本人にとってもアメリカ大統領選挙というのは極めて重要な問題であり、そこでの関心事はやはり両大統領候補での世界政策や外交安全保障政策の違いであろう。

しかし、今回の報道特集ではほとんどがアメリカ国内の問題が取り上げられており、特に BLM に厚みをもたせた報道となっていた。どういう論点を取り上げ、どういう論点を取り上げないのか、という点を見ても報道機関であるとか制作サイドの見識が見え隠れするが報道特集ではどういう基準で論点を取り上げているのだろう

か、非常に気になるところである。